

授業科目名	ピアノ演奏理論Ⅲ	担当形態	講義		
		開講学期	春学期		
担当教員	清水 皇樹	単位	2	年次	3

＝授業のテーマ及び到達目標＝

個性ある演奏法を確立するために、コルトーやペルルミュテール、アラウ、ネイガウスなどの現代まで繋がっている伝統ある演奏法を授業の中で研究し、学生自らの演奏に役立てる。今後の演奏の方向づけを行う。

＝履修の条件と学習の方法＝

楽譜は毎回必ず準備する。

授業で感じたこと、考えたことを書く。演奏に対して批評もする。

＝授業の概要＝

過去の名演奏家、現代の演奏家の演奏を鑑賞し、批評を書く。
学生の演奏に対して、聴く姿勢を育てる。

＝授業計画＝

- 1回 ガイダンス シラバス（講義の目標や内容）の確認。
- 2回 過去の名演奏家達Ⅰ
- 3回 過去の名演奏家達Ⅱ
- 4回 過去の名演奏家達Ⅲ
- 5回 現代の演奏家達Ⅰ
- 6回 現代の演奏家達Ⅱ
- 7回 現代の演奏家達Ⅲ
- 8回 バロックの演奏法研究Ⅰ
- 9回 バロックの演奏法研究Ⅱ
- 10回 古典派の演奏法研究Ⅰ
- 11回 古典派の演奏法研究Ⅱ
- 12回 ロマン派の演奏法研究Ⅰ
- 13回 ロマン派の演奏法研究Ⅱ
- 14回 近現代の演奏法研究Ⅰ
- 15回 近現代の演奏法研究Ⅱ、まとめ

＝テキスト（必携）＝

特になし

＝参考書・参考資料（必携）＝

特になし

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席状況、授業態度、演奏・レポートによる評価

＝その他＝

